

# こみゆにてい 戸隠

## 戸隠地区住民自治協議会広報 第31号

戸隠地区住民自治協議会事務局  
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554  
Tel : 254-2490 Fax : 254-2327  
e-mail : togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 新井 利睦

【平成29年2月発行】

## 各行事の活動報告

### 第25回戸隠ホームステイ



#### スケジュール

1月5日～8日

1日目

長野駅 着



地質化石博物館



戸隠支所

民泊受入れ式

2日目

スキー交流



戸隠神社中社参拝

3日目

スキー交流



竹細工体験

4日目

解散式



善光寺参り



長野駅 発



● 宮崎県高千穂町交流ホームステイが、1月5日～8日にかけて、高千穂町の小学生男子5名・女子5名・引率者3名を招き行われました。

● 1日目は戸隠地質化石博物館を見学、館内の説明を受け化石のクリーニングを体験しました。その後戸隠支所で受入れ式を行い、各受入れ家庭に向かいました。

● 2日目は戸隠スキー場に向かいました。前日降った雪が止み絶好のコンディションの中でスキー交流が始まり、スキーを履くのが初めての児童も1時間ほどで滑れる様になりリフトにも乗る事が出来ました。昼食後は、4人乗りリフトで怪無山に上がりました。最初のうちは怖がっていましたが直ぐに慣れました。スキー終了後戸隠神社中社を参拝し水野宮司さんより戸隠の神話の話を聞きました。

● 3日も朝から快晴でスキー日和、全員で瑠璃山に上がり頂上から見る眺望は絶景でした。途中では少ない確率で見た富士山とてもラッキーでした。その後、中社の公民館で竹細工の体験をし壁掛を作りました。

● 4日目は支所に集まり解散式で支所長より「これからも末長く交流が続く事を希望します」という挨拶が有りました。その後、善光寺参りをし帰路に着きました。

# 地域間交流会

10月25日 古牧地区を招いて



荒倉山岩屋にて



森林囃子にて交流会

住民自治協議会の事業の一環として、10月25日、古牧地区との地域間交流として荒倉山のトレッキングを行いました。

古牧地区より20名、戸隠地区より15名が参加しました。

ガイドには秦孝之さん（戸隠登山ガイド）をお願いし、案内をして頂きました。

荒倉キャンプ場より、釜岩林道を通り屏風岩、舞台岩、紅葉の化粧水を訪れました。紅葉の美しさはこの化粧水を使ったからだと言われているそうです。その奥に、紅葉の岩屋があります。この場所には地元の人も足を運ぶ事が少なく、小学校の遠足以来始めて訪れたと言う人が多くいられました。最後に、荒倉山から、西岳、戸隠地区一带を見渡せる景色の場所に案内して頂きました。年配の方々も多く参加されていましたが、和気あいあいと皆元気に歩き通し、午前中のトレッキングが終る頃雨が降り始めました。午後は、森林囃子に移動し交流会親睦会を行いました。自己紹介から始まり、各テーブル毎に分かれて地区の問題点等を話し合い各参加者は、其々に収穫があった様でした。

最後に、各会長による挨拶、万歳で交流会が終了しました。これからの両地区の交流が深まれば良いと思いました。  
(Hさん)

# 地域間交流会

10月27日 第二地区地区を招いて



小鳥が池周辺を散策



二番館にて交流会

10月27日(木)に、第二地区との交流会が戸隠で行われました。

今回のテーマ「戸隠神社と古道巡りトレッキング」と題して、中社～宝光社 通称「神道」の散策を行いました。

当日は、紅葉の素晴らしい鏡池に集合し、池に映る素晴らしい戸隠山と紅葉を堪能しました。その後中社に戻り秦孝之さん（戸隠登山ガイド）の案内で古道を宝光社まで紅葉を眺めながらトレッキング行いました。戸隠に住んでいながら、なかなか足を踏み入れる機会の無い私達ですが、第二地区の皆様と和気あいあいの会話をしながら散策を楽しみました。その後、宝光社在住の越志徳門先生に宝光社地蔵堂の前で地蔵堂の由来・変遷・役割など説明を頂きました。後、宝光社「二番館」にて昼食を交えながら賑やかな懇談会を行いました。

歴史で繋がっている「善光寺と戸隠」何か親しみがもてる両地区の交流が今後共発展する事を期待します。  
(Kさん)



大盛況野菜の販売



宝光社敬神会の獅子神楽

11月3日晴れ。住自協地域間交流事業で古牧地区を訪問しました。この日、古牧地区では「第33回ふるさと文化芸能祭」が行われていました。戸隠からは宝光社獅子神楽敬神会の皆さんが「獅子舞下方」で特別出演し、太鼓や笛に合わせた獅子の舞を息を凝らして観ていた観客の皆さまから大きな拍手を頂きました。古牧地区の芸能祭の内容は、芸能部門と展示部門で各部門も素晴らしい内容でした。

また、戸隠の農産物の販売も行い、軽トラック3台分の野菜等を2時間余で完売しました。このところの野菜の高騰もあり、安値での販売に古牧の方々に大変感謝されました。

また、五分一公民館での交流会では、古牧地区の方々と地区のことや個人の趣味など親しく懇談し楽しい時を過ごすことが出来ました。この様な機会を通し、互いの地区がその良さを取り入れより発展していけたらいいなあと思ひながら紅葉の戸隠へ帰ってきました。(Yさん)

## ひとり暮らしシニア旅行に参加して



美味しかったワインの試飲



盛り上った懇親会

昨年は春の干ばつ、猛暑、長雨と気象の変動に大変苦労されたのではないかと思います。自然と共に頑張って生きて行かなければなりません。

さて、楽しみに待っていた旅行「鶴ノ浜温泉」が、昨年11月10・11日にバス1台で行って来ました。車窓から景色を見ながら一路目的地へと、途中岩の原ワイン工場を見学し、おいしいワインを頂きました。大きなホテルで日本海が見えるお部屋で、お風呂に入り心も体も温まりました、そして夜の懇親会です。社会福祉委員長さんの挨拶で始まりました。海の幸や飲み物を沢山頂き満足感で一杯です。カラオケ大会で一層盛り上りました。あっという間の楽しい一夜でした。

役員の皆さんには大変お世話になりました、無事元気で帰路に、有難う御座いました。

(Iさん)



## 「ずく」について

戸隠地区地域おこし協力隊 栗原 健

私が戸隠に引越してから、もうすぐ3年になります。公私ともに色々な事が有りました。地味な事も多いですが、どれも印象深いエピソードです。短い文章で表わす事は出来ないで、一つだけお気に入りの方言について書きたいと思います。

「ずく」という言葉を、戸隠に来て初めて知りました。標準語では「マメさ、やる気、覇気」という意味だと思います。常に元気でテキパキしている状態が理想ですが、誰しもそうじゃない時はあります。「ずくが無くて…」と言うと「まあそういうこともあるよね」と返ってくるような優しさを、戸隠での暮らしで感じました。「ずくが無くて」と言い訳しないように、精進したいと思います。

まあそんな時もあるけど。良い事も悪い事もひっくるめて、自分が選んだ街だから。これからもマイペースで暮らして行きたいと思います。



自作のコーヒートレイ



雪の中の栗原さん

## 戸隠に住んで半年、今思う事

戸隠地区地域おこし協力隊 水谷 翔

戸隠の水、空、山、花などの持つ神々しい雰囲気には異世界の印象も受けます。私は特に戸隠の地質と土壤に興味を持ち、専門機関に土壤分析を依頼しました。すると非常に興味深い結果が出たのです。窒素、リン、カリウムなど、項目によっては長野県の平均値の数倍以上となりました。10年以上手つかずの耕作放棄地にも関わらずです。その結果は今後の農作業の一層の励みとなりまし、野菜を育てていく楽しみも高まります。

肝心の野菜栽培用の圃場は耕作放棄地を整備・再生することとし、12月半ばの時点で約5反程度まで進めました。また、堆肥は数種類の有機物とクマザサ、カヤ、ワラ等の自然資源のみを使用し、土壤本来持つ力を最大限活用すべく土中で作りました。

来年度は高原豆を中心とした栽培を目指しています。他にも色々な野菜にチャレンジして見たいと思います。畑や道で見かけたら声をかけていただければと思います。これからも宜しくお願い致します。

農業を目指して昨年5月に移住をした私にとって戸隠の動植物に恵まれた環境は目に入るもの、身体で体験すること全てが新鮮でワクワク感に満ちていました。それは移住後半年を経過した今でも変わりません。



自作の花豆



笹原地籍の耕作放棄地を耕す

## 健康支援委員会事業報告



松代七福神めぐり

H28年11月27日 日曜日 松代にて  
ノルディックウォーキングが行われ、七福神めぐりをしました。

H29年1月24日 火曜日 戸隠奥社にて行われたスノーシューの様子です。王様の木の前で休憩。当日大雪でしたが、白銀の世界で見る巨木に感動しました。



王様の木の前で

## 平成28年度住民大会実績報告

来場者	約320人
バザー売上金	54,570円
福祉募金(熊本地震災害義援金)	5,690円
社会を明るくする運動 配布	220人
(ポップコーン無料配布)	

※皆様のご協力大変有難う御座いました。

## 編集後記

・平成29年も早2ヶ月が過ぎようとしています。今年の雪は昨年に比べて多かった様に思います。今年度も残す所あと1ヶ月ほど、各区とも最後の追込みの時期です。次年度にスムーズな引継できるといいですね。まだ、寒い日が続きますので体には気を付けて下さい。